

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	46%	自校A B層の割合	45%

目標達成に向けた取組			
3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> 校内研究で組んでいることを全教員で実施する。校内研究会で振り返り、改善し、実行することを繰り返す。 毎時間の授業の最後には、ねらいに即した振り返りを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 東京ベーシックドリルの診断テストを年間3回実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ドリルパークを定期的に全校で実施する。 学力向上委員会で、ドリルパークの取組を数値化し、目標数値を決定する。
特に支援が必要な児童・生徒への手立て	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインに取り組み、全校で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 放課後補習事業者と連携して基礎学力の保障を図る。 ドリルパークで苦手分野の復習を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ドリルパークを家庭と連携して、何をどの程度取り組むのかを明確にする。個々の学習の理解度、学びに向かう力に応じて取り組む。
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> 児童アンケート「学習していることがよく分かる」「授業が楽しい」回答80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 東京ベーシックドリルの診断テスト8割達成者70%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力調査「授業時間以外の勉強時間」1時間以上の回答割合80%以上